

# 中国四川省涼山州における高山域の農牧地利用

## 1. 地域の概況

四川省涼山州は長江支流の上流域で、数民族彝族の自治州である。涼山州の安寧河は、標高 1,000m から 3,500m 前後に及ぶ。漢族農民が占める温暖な標高 1,000m ~ 1,500m の河谷平地は水稻栽培が可能でも、彝族が住むそれ以上の地域では畑作と畜産が中心となる。植生はウンナンマツとアラカシ、クリなどの混交林、さらに森林限界を超えるとチベット高原同様の高山ツンドラ気候となる。高山域での土地利用は気候と地形の厳しさから過剰利用の危惧がある。



図 四川省涼山州彝族自治州  
人口 400 万人（彝族 4 割、漢族 6 割）

## 2. 農業と畜産による高地の二次的自然

彝族は、農耕（ソバ、ジャガイモ、トウモロコシ）と畜産（牛、豚、羊）とを組み合わせ、持続可能な農業を行っている。ただし、高地では家事・暖房用の薪柴や飼料（ハイマツ、ササを含む）などと植生利用が多い。そのため傾斜耕地でのテラス化、農耕地の休閑地や林地の放牧利用などの工夫を実施している（表参照）。特に急傾斜の農耕地を森林に戻す「退耕還林」は、政府からの支援としての食糧や補助金が伴う積極的施策であり、成果が注目されている。

表 利用別平均土地所有面積 (ha、100 戸、2001 年調査)

市県	村	計	水田	常畑	輪耕地	果園等
昭覚	玄生	1.0	0.0	0.8	0.0	0.2
徳昌	馬路	1.1	0.1	0.5	0.4	0.2
徳昌	仁寿	0.8	0.2	0.1	0.0	0.5

表 部門別平均年収 (元、100 戸同上)

市県	村	計	農業	林業	牧畜業	その他
昭覚	玄生	4086	1871	466	1627	122
徳昌	馬路	3622	2288	214	599	521
徳昌	仁寿	6846	4304	11	827	1704

輪耕地：数年の休閑を置く、ソバ、燕麦などの耕作地

標高：玄生 2540m、馬路 2600m、仁寿 1500m

## 3. 野生生物との共生

この地域に生息する哺乳類はイノシシ、サンバー（水鹿）、センザンコウ、ジャグルキヤット等が生息する。涼山州はパンダ（絶滅危惧IB類）やレッサーパンダ（同前）の生息域でもあるように、持続可能な彝族の農牧地は広義の緩衝地帯に相当する。



図 昭覚県普詩郷玄生坦 ソバ、トウモロコシ  
収穫と飼料・燃料となる茎藁の乾燥 2000 年 11 月

出典：松島昇. 2004. 中国長江上流域の森林荒廃における地域間、民族間較差の研究. 『比較社会文化』, 第 10 卷: 49-67.